

ランク振分けの方法（平成 22 年）（案）

- 所得・消費に関する指標（5 指標）、給与に関する指標（10 指標）及び企業経営に関する指標（5 指標）の 20 指標について原則平成 17 年から 21 年までの数値の平均値をとる。

- 20 指標それぞれについて 5 年間の平均値から、最大値となる都道府県を 100 とした指数を作成する。

- 20 の指数を単純平均し、東京を 100 とした総合指数を算出する。

- 以下の 3 つの考え方にに基づき A から D の 4 ランクに分割する。
 - （1）総合指数を順番に並べ、指数の差が比較的大きいところに着目する。
 - （2）個々の都道府県のランク間の移動や各ランクごとの都道府県の数の変動を極力抑える。
 - （3）特に B, C ランクについては、各ランクにおける総合指数の分散度合いをできる限り小さくすることにも留意する。